



2019年11月8日

初代「マツダ ロードスター」が 「2019 日本自動車殿堂 歴史遺産車」に選定

マツダ株式会社(以下、マツダ)の小型オープンスポーツカー「マツダ ロードスター(初代)^{*1}」が「日本自動車殿堂 歴史遺産車」に選定されました。マツダ車が「日本自動車殿堂 歴史遺産車」に選定されたのは、2003年のコスモスポーツに続いて、今回が2回目となります。

「日本自動車殿堂 歴史遺産車」とは、日本の自動車の歴史に優れた足跡を残した名車を選定し、日本自動車殿堂に登録し、永く伝承するものです。このたびの選定にあたり、「4代にわたる変わらぬコンセプト」、「累計生産台数100万台を超え、世界記録を更新し続けている」、「魅力的なスタイリング、クルマを操る楽しさを提供し、日本の技術水準の高さを世界に知らしめた」ことが評価されました。表彰式は2019年11月15日(金)に学士会館(東京都千代田区)にて行われます。



初代 マツダ ロードスター(1989年)

ロードスターは、1989年の発売以来、30年にわたり、人馬一体の走りがもたらす、ライトウェイトスポーツカー特有の“Fun(楽しさ)”を一貫して提供し続けています。国や文化、世代を超えた多くのお客さまからご支持をいただき、これまでの累計生産台数は100万台を超えています。日本だけでなく、「2人乗り小型オープンスポーツカー」生産累計世界一のギネス世界記録^{*2}をはじめ、世界の国々でも200を超える賞を受賞しています。2015年に発表した4代目ロードスターは、「2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー」、2016年「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー」「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」をダブル受賞するなど、高い評価をいただいています。

マツダは今後も、お客さまに「感動」を提供し続け、クルマ本来の魅力である「走る歓び」にあふれたカーライフを通じて、お客さまの人生をより豊かにし、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

以上

*1 正式名称「ユーノス ロードスター」

*2 Guinness World Records Limitedによる認定。

【ご参考】

■特定非営利法人 日本自動車殿堂

<http://www.jahfa.jp/>